

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会玉名支部

玉名地域のトマト類における IPM 技術の推進について

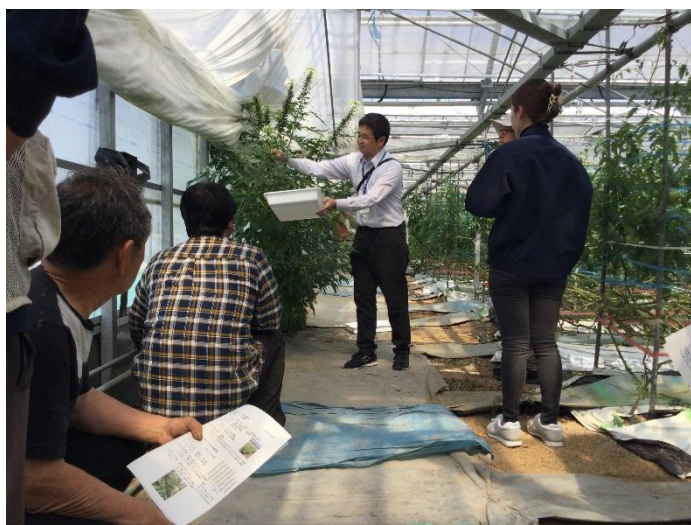
県内有数の冬春トマト類の産地である玉名地域は、近年、難防除害虫のコナジラミ類の対策として、タバコカスミカメ(天敵)の利用を検討してきています。

こうした中、野菜振興協会玉名支部による土着天敵を活用した低コストコナジラミ防除展示圃において、トマト類生産者や関係機関を対象とした現地検討会を令和6年5月に開催しました。

展示圃では、土着天敵が全体的に増殖しており、ほぼコナジラミが見られず、トマト黄化葉巻病やトマト黄化病等の発病も低い密度に抑えられていました。

展示農家からは、「農薬使用回数が減り防除効果を実感している」との声や参加農家の「次作から天敵を活用したコナジラミ対策に取り組みたい」といった声が聞かれました。

今後も、地域のトマト類生産者の方々が効果的に天敵を利用できるよう、引き続き関係機関が一体となって支援を行ってまいります。



現地検討



タバコカスミカメ